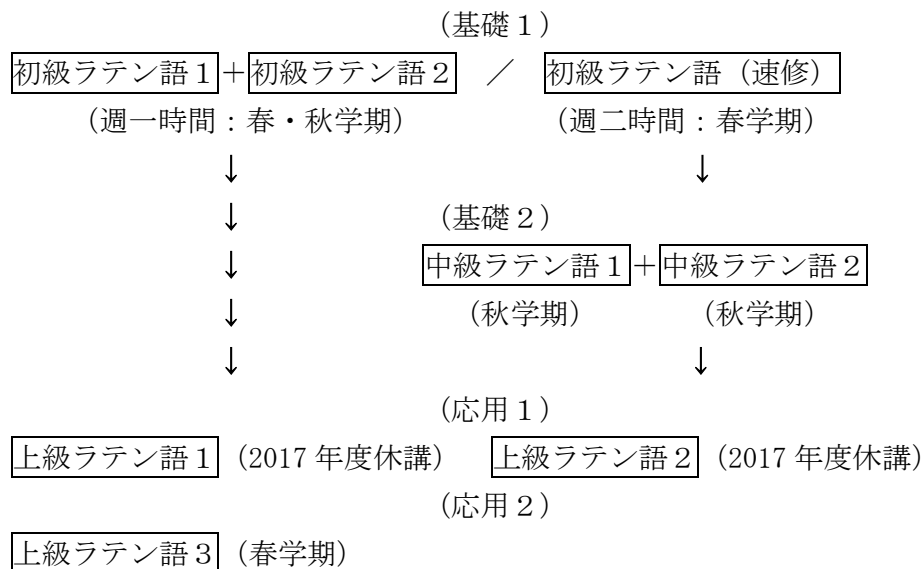


## 古典語（ラテン語）学習について



・ラテン語の学習段階を便宜的に**基礎**と**応用**の二段階に分けます。

・基礎段階から学び始める道筋は次の二通りがあります。

(1) 「初級ラテン語 1」と「初級ラテン語 2」を一年かけて学び、次年度から応用段階に進む。

(2) 週二時間の「初級ラテン語 (速修)」を選択し、春学期で文法事項を一通り学び終え、秋学期は「基礎 2」として設定された「中級ラテン語 1」、「中級ラテン語 2」の両方もしくはどちらか一方を履修して、応用段階に進むまでの基礎をしっかりと固める。

・応用段階で原典講読を中心に勉強するときには、上記の(1)と(2)のうちどちらの道筋を選択したかによって、学力差が想定されますが、応用段階でも担当教員ができる限りサポートするので、出席者の意欲と努力によって、週二時間をラテン語履修にあてられなかったハンディを補うことができます。

・応用段階を1と2に分け、2は難しめの設定になっていますが、その時間しか出られない人にも配慮するので、基礎段階を終えたばかりの人が選択しても大丈夫です。特に基礎2までクリアした人なら、少しの努力で多くのことが学べるようになるはずです。

・ラテン語学習に関する相談は、次のアドレスまでお問い合わせください。科目履修、独習その他、なるべく有益な助言をできるようにします。